第3回三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議に参加

2027年の東京・名古屋間開業に向け、JR東海による環境アセスメントが進む中、名古屋・大阪間を含めた全線同時開業を実現するためには、今が極めて重要な時期であることから、三重県と奈良県の経済団体では両県の連合協議会を昨年8月に設立、全線同時開業による経済波及効果等の調査を実施し、その結果を公表、全線同時開業の必要性を強く要望するなど活発な事業活動を展開しております。

このような状況の中、去る8月５日(月)、津市において、リニア中央新幹線の全線同時開業を目指し、両県の経済団体と県・市関係者の合同大会が開催され、当所より、正副会頭、役員議員25名が出席し、席上、岩佐会頭が経済界を代表し、総会決議を朗読し、全会一致で可決採択されました。

また、促進会議では主催者・来賓挨拶に続き、日本大学経済学部教授の加藤一誠氏による「リニア中央新幹線の同時開業と地域づくり」と題し記念講演が行なわれ、最後に東京・大阪間の全線同時開業の更なる推進と中間駅の位置決定・公表等を求める共同アピールが採択されました。



